

第16号(2023年)

会報 SPACESHIP EARTH

宇宙船地球号



SPACESHIP EARTH

特定非営利活動法人
奈良県国際交流振興会



「親の葛藤」



「ママ友の会で、子どもの海外留学の話がよく出るのです。私は高校の時、英会話も十分出来ない状態で初めて短期留学に参加して、現地では戸惑うことも多くありましたが、『ことば』は習うものではなく自らの意志で学ぶものだと知りました。また、その時の経験が自立する自分を作り、英語への興味関心も深くなりました。今、息子は小学校3年生になり、ママ友仲間が話すように短期留学に参加させようと思いつつあります。私が高校の時に経験したことを、小学校3年生で体験させたら、この子は私以上にもっと人間的に成長すると思うし、英語だって日本語と同じ感覚で話せるようになると思うのです。でも、そう思うものの、言葉もわからない異国で独りぼっちの生活に耐えられるだろうか？先生がよく言っていた『挫折回復力』がこの子にあるだろうか？等と思うと心配で心配で……。小学校3年生ではちょっと早すぎるのでは？と思ったり。でも短期留学に参加させるという数人のママ友の子どもたちには負けたくないし……。先生、どう思います？」

これはかつて同じ職場に勤務し、今は嫁いで二児の母となったYさんからの電話の要約である。携帯電話の終了ボタンを押した後、こんなことを考えた。私たちが子どもの頃は、『海外留学』という言葉さえ聞くことはなく、視野は国内のみ。奈良から東京へも遠かった。夜行列車『大和』で8時間あまりかかった。そんな時代、“海は広いな 大きいな 月が昇るし 日が沈む 海にお舟を浮かばして 行ってみたいなよその国” が唯一国外へ目を向けたあこがれの童謡であったが、これとて『船』ではなく『舟』であって、おとぎ話の世界であった。

そして今、海外旅行も身近なものとなり、産業・経済社会もグローバル化し、海外生活経験者も増加の一途を辿っている。一方国内では、『口はわがわいの元』の美德思想や商売での『負けときます』文化が残存し、攻めて攻めていささかも引かない外国文化とは異なる生活にはまっている。教育ではようやく小学校3年生から英語を教科として取り入れ、使える英語と国際人の育成を始めた。親が世界を見る眼も年齢が若くなるほど広がった。しかし、していないつもりでしているのが過保護。これが子どもの自立性に不安を抱く双方の要因となっている。やがて子どもの権利条約を踏まえた子育てが確立すれば、親、子ども海外に出る不安は払拭されるであろう。だから今、グローバル社会で活躍する子育てを考えるなら、少しずつ子どもの自立性・独立性を誘発する生活に転換し、自己責任で自己実現に向かう態度を育てよう。加えて、日本の伝統文化にも触れて、日本人としての誇りを体得させよう。(外国籍の人は日本をその国名に読み変えて)。子どもは柔軟、これにより未経験分野も切り拓き、留学への期待を果たすと考える。それが出来るのは、発達程度にもよるが小学校3年生位からだと言われている。

最後に、国際社会に貢献できる人材育成と友好親善を目的とする私たちの活動は、県内の協賛企業各社のご支援で支えられていることを申し上げ、深甚なる謝意を表します。

奈良県国際交流振興会理事長 天根俊治

目 的

この法人は、県内の青少年及び教育関係者に対して、国際教育並びに相互文化交流の普及促進及び交換留学等留学の実践並びに発展向上に関する事業を行い、自国や他国の文化についての深い認識や広い理解を持ち国際社会に貢献できる人材育成並びに国際友好親善向上に寄与することを目的とする。

沿 革

設 立 平成15(2003)年4月

特定非営利活動法人認証 平成18(2006)年2月7日



令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 奈良県国際交流振興会

1 事業の成果

例年、夏休みと春休みの年2回、県内の小中高生に対して、ホームステイによる異文化体験国際交流事業を実施してきたが、コロナ禍の影響でこの3年間実施していない。そのような中、「with コロナ」の時代の活動というだけでなく、将来のホームステイ参加へのステップとなることを期して、一昨年度、昨年度と好評を得ていた奈良県教育委員会と共催による「奈良イングリッシュキャンプ」を今年度も春休みに開催した。昨年度同様、小学生だけを対象とし、北部は奈良学園登美ヶ丘中学校（参加者81名）、南部は奈良芸術短期大学（参加者64名）の2か所を会場に実施。コロナ禍も落ち着きを見せる中での実施であったことも相まって、昨年よりも多くの参加者を得ることができた。

今後も、世界で活躍する夢をもった子どもたちを応援し続け、国際社会に貢献できる人材を育て、国際交流、何より世界の平和に寄与できるように努力していきたい。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
留学に係る普及促進及び支援事業	海外大学進学説明会	実施せず		0		0
	長期留学説明会	実施せず		0		
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	ホームステイによる異文化体験国際交流事業	実施せず		0		0
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	ホームステイ説明会及びオリエンテーション	実施せず		0		0
国際文化交流に係る調査研究事業	県内小・中・高の実態調査	随時	県内	6	県内小中高校	41
国際文化交流に係る教育研修事業	国内異文化体験教育研修事業	3月25日26日	奈良芸術短期大学	3	小学生64名	263
		3月25日26日	奈良学園登美ヶ丘中学校	4	小学生81名	
国際文化交流に係る刊行物発行事業	国際交流体験記及び会報誌の刊行	11月		5	English キャンプ・ホームステイ参加者、保護者、教員	145

令和5年度事業計画書

令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	受益対象者の範囲及び予定人数
留学に係る普及促進及び支援事業	海外大学進学説明会	1月	奈良市、橿原市	
	長期留学説明会	1月	奈良市、橿原市	
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	ホームステイによる異文化体験国際交流事業	3月	海外	10人
国際教育の普及及び支援事業並びに人材育成事業	ホームステイ説明会及びオリエンテーション	1月	奈良市、橿原市	
国際文化交流に係る調査研究事業	県内小・中・高の実態調査	随時	県内	県内各校
国際文化交流に係る教育研修事業	国内研修	3月	県内	県内小学生・中学生
国際文化交流に係る刊行物発行事業	国際交流体験記及び会報誌の刊行	11月		English キャンプ・ホームステイ参加者、保護者、教員

English キャンプ参加者体験談

小学校4年生 松本 大聖

僕は小さい時から色々な人と話をすることが好きで、イングリッシュキャンプも「外国の先生と会えてお話が出来るいい機会だよ。」とお母さんからすすめて参加しました。

授業ではフランスのキティ先生とフィリピンのマリー先生の授業がおもしろかったです。キティ先生の授業は、おもちゃの千円札を1人一枚もらい、3人一チームで先生の出すクイズに英語や日本語で答えるというものでした。正解するとおもちゃのお金がもらえて一番多く集められたチームが勝ちでした。一位ではなかったけれどもみんなでもりあがって楽しかったです。

マリー先生の消しゴム飛ばしのゲームは、たて2メートル位の野球グラウンドのような形のフィールドで消しゴムをすべらせて一番遠くまでいったら勝ちというものでした。フィールドの外に出たらアウトだったので投げるのがむずかしかったのですが、僕は一位をとれてとてもうれしかったです。とてもおもしろかったので、学校でも友だちといっしょにやってみたらみんなで楽しめました。

他にも外国の知らないことを色々学んだり、知ったりすることが出来て学校での勉強と違った楽しさがありました。又機会があればイングリッシュキャンプに参加して色々な国の先生と会って、話してみたいです。



小学校5年生 吉田 華琉

私は今年の春と夏の2回、イングリッシュキャンプに参加しました。春のキャンプは2日間の日帰り、夏のキャンプは2泊3日の合宿でした。去年の春のキャンプにも参加したので、合計3回参加しています。

キャンプではサイコロを使ったゲームや特殊な紙に色を着ける実験をしました。ゲームの進め方や実験の方法は、外国人の先生がすべて英語で説明してくれました。

去年初めて参加したときには、英語での説明がよく分かりませんでした。でも授業はとても面白かったので、今年のキャンプにも絶対に参加したいと思い、キャンプの事を楽しみに英語の勉強を続けていました。そのおかげで今年の授業は先生の英語での説明がよく分かり、去年よりも楽しかったです。

イングリッシュキャンプに参加できたおかげで、ますます英語が好きになり海外留学にも挑戦したいと思いました。次回も必ず参加したいと思います。



English キャンプ参加者保護者体験談

参加者保護者 松本 哲知

キャンプ二日目、解散場所まで迎えに行くと、ちょうど息子が参加賞をいただき帰ってくる所でした。お礼の挨拶を終えて駐車場に向かう途中に「どうやった?」と尋ねると「めっちゃ楽しかった! 来年も又参加したい!」と満面の笑みを浮かべ、その日体験したことを矢継ぎ早に話してくれました。

イングリッシュキャンプ申込のきっかけは、英語に興味を持てるようなキャンププログラムを知り、机の上での「勉強」は苦手だけれど、様々なことを体験したり、コミュニケーションをとることが大好きな息子が、5年生から本格的に始まる「英語」に少しでも興味を持つ良いきっかけになるのではないかと考えたことでした。

息子には、「英語がネイティブのいろいろな国の先生とお話やゲームをしたり、海外のことがたくさん聞けたりして楽しいよ」等と勧めてみると、「うーん、興味はあるけど勉強はしたくない。けど、たくさん友達ができたらいから行くわ。お弁当も食べられるからな。」と、親の期待からは少々外れたことばかり話しており、内心どうなることか・・・とっていました。

ところが参加してみると、初日は「まあまあ楽しかった。」と言いつつ、自己紹介をこんな風にした等とうれしそうに話し、二日目には「めっちゃ楽しかった!」と体験してきた日常英会話をいくつか披露してくれました。そして教えてもらった英語を楽しそうに話している息子に触発された下の子ども「私も参加したい!」と言い始め、家族で英語について話しながら賑やかに過ごしました。

親としては当初の目的を果たせて安堵するとともに、子どもにこのような貴重なチャンスと体験と出会いの場を作っていただいたことに非常に感謝しております。事務局の方におかれましては、新型コロナウイルス感染症の流行がまだ一定程度続いており、予防対策にも気をつけながら大変な開催であったかと思えます。本当にありがとうございました。

参加者保護者 吉田 佑樹

英語は受験対策としてペーパーテスト用の勉強ばかりで、英会話はおろか簡単なヒアリングにも自信が持たない親としては、子どもたちには「良質な英語に触れる機会を増やしてあげたい」ということが、子育ての中で大切にしていきたい内容の一つになっていました。それを自然な形で叶えてくれたのがイングリッシュキャンプでした。

昨年春のキャンプに初めて参加したのですが、きっかけは学校で配付された案内資料でした。小学校に入学する時から英会話スクールに通っていますので、イングリッシュキャンプで行われる英会話での授業やコミュニケーションには娘も興味を持っていました。しかし、普段のスクールとは違う雰囲気の中で受ける授業にやや不安を



感じて迷っている様子でしたので、参加したい気持ちがあるのなら同じ英会話スクールに通う同級生の友達と一緒に参加してはどうだろうと提案したところ、二つ返事で参加が決まりました。

日帰りで2日間の初イングリッシュキャンプを終えて帰ってきた娘の、達成感と自信に満ちた表情を忘れることが出来ません。英語とくに英会話に強い苦手意識を持っている私としては、全て英語による授業など不安でしかないのですが、意外にも娘と友達からは「簡単だったし楽しかった」という答えが返ってきたのです。娘が英語を使って楽しい時間を過ごすことが出来たことが、親として何よりの喜びであり収穫でした。

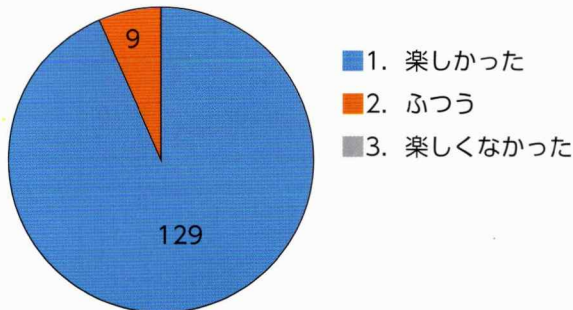
その後、今年は春と夏両方のイングリッシュキャンプに参加しました。娘の方から自主的に参加したいという話になり、夏は2泊3日の合宿スタイルでしたが臆することなく挑戦してくれました。英語が大好きな同年代の友達がたくさん出来、英語での授業にも娘なりに満足して帰ってきてくれました。3回のイングリッシュキャン

プを通じて海外留学に興味を持った様で、引っ込み思案の傾向がやや強かった娘の思わぬ成長ぶりに安堵しつつ、よい機会に巡り合えた親として大変満足しています。このような素晴らしい企画を毎年実行して下さる皆様へ感謝申し上げますとともに、これからも未来ある子ども達のために御尽力くださいます様お願い申し上げます。

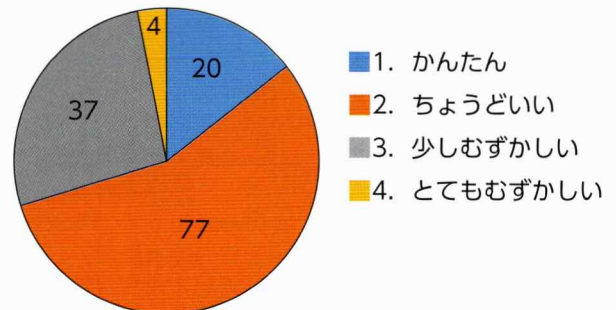


2023年春 奈良県 English キャンプアンケート結果 (回答者：138名 (145人中))

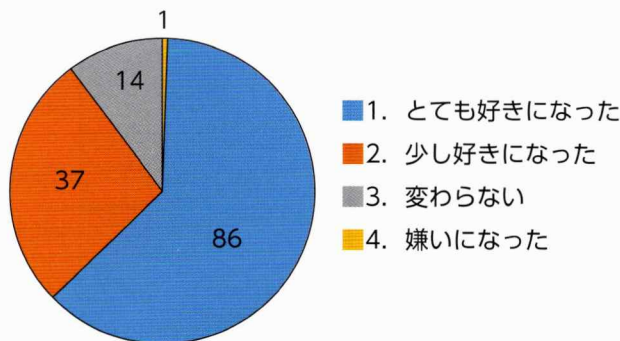
◆プログラムは楽しかったですか？



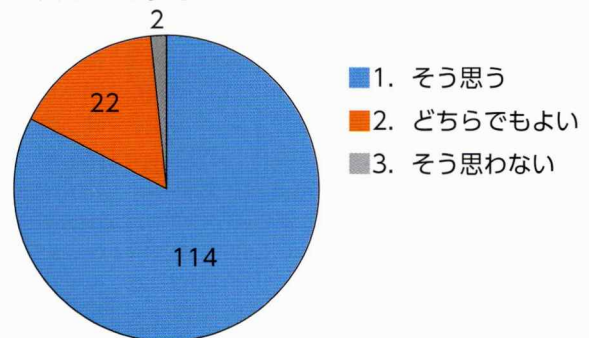
◆英語クラスの難しさは、いかがでしたか？



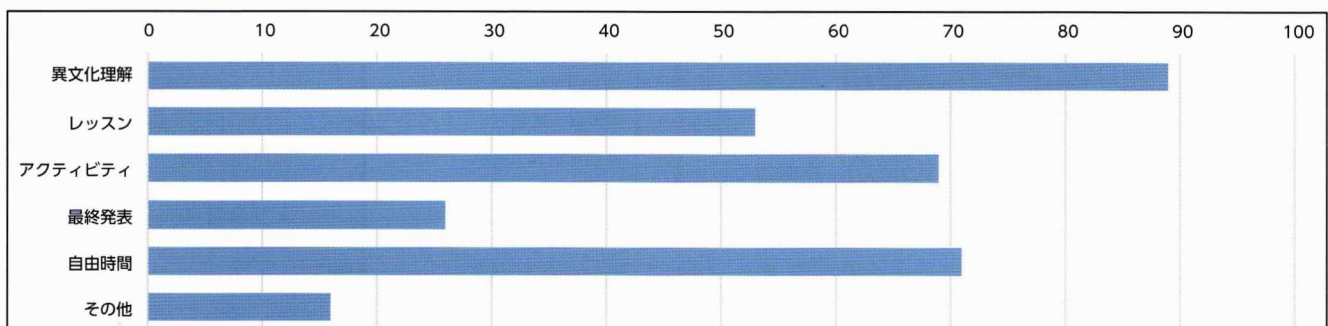
◆英語は参加前より好きになりましたか？



◆またこのようなプログラムに参加をしてみたいですか？



◆良かったのはどの時間でしたか。(複数選択可)



※その他の回答：サイエンス、ブックマーク作り、ゲーム、昼食 等



会計収支計算表

令和4(2022)年度 特定非営利活動に係る事業会計活動報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
(特定非営利活動法人 奈良県国際交流振興会)

科目	予算	決算	備考
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
正会員			会員数 10
個人会費	45,000	30,000	
賛助会員			会員数 5
団体会費 個人会費	400,000	260,000	
計	445,000	290,000	
2 事業収入			
留学に係る普及促進及び支援事業	0	0	
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	0	0	
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	0	0	
国際文化交流に係る調査研究事業	0	0	
国際文化交流に係る教育研修事業	0	0	
国際文化交流に係る刊行物発行	0	0	
計	0	0	
3 その他収入			
奨学金積立より取崩し	300,000	300,000	
雑収入	0	1	利息
計	300,000	300,001	
経常収入合計(A)	745,000	590,001	

II 経常支出の部			
1 事業費			
留学に係る普及促進及び支援事業	0	0	
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	0	0	
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	0	0	
国際文化交流に係る調査研究事業	45,000	41,421	通信費等
国際文化交流に係る教育研修事業	300,000	262,990	会議費、雑費
国際文化交流に係る刊行物発行	150,000	145,420	印刷費
計	495,000	449,831	
2 管理費			
事務所管理費	10,000	10,325	電気代
会議費	70,000	62,119	総会等
通信費	60,000	60,692	電話代
雑費	30,000	30,220	手数料
租税公課	80,000	71,000	県市民税
備品	0	29,250	プリンター
計	250,000	263,606	
経常支出合計(B)	745,000	713,437	
当期収支差額(C)=(A)-(B)	0	△ 123,436	
前期繰越収支差額	160,640	160,640	
次期繰越収支差額	160,640	37,204	

令和5(2023)年度 特定非営利活動に係る事業会計予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
(特定非営利活動法人 奈良県国際交流振興会)

科目	金額(単位:円)	
I 経常収入の部		
1 会費・入会金収入		
正会員		
個人会費・入会金	42,000	
賛助会員		
団体会費・入会金	300,000	
		342,000
2 事業収入		
留学に係る普及促進及び支援事業	0	
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	0	
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	0	
国際文化交流に係る調査研究事業	0	
国際文化交流に係る教育研修事業	0	
国際文化交流に係る刊行物発行	0	
		0
3 その他収入		
奨学金積立より取崩し	200,000	200,000
経常収入合計		
		合計 542,000

II 経常支出の部		
1 事業費		
留学に係る普及促進及び支援事業	0	
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	50,000	
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	30,000	
国際文化交流に係る調査研究事業	40,000	
国際文化交流に係る教育研修事業	40,000	
国際文化交流に係る刊行物発行	150,000	310,000
2 管理費		
事務所管理費	15,000	
会議費	50,000	
通信費	65,000	
雑費	30,000	
租税公課	72,000	232,000
経常支出合計		
		542,000
経常収支差額		0
当期収支差額		0
前期繰越収支差額		37,204
次期繰越収支差額		37,204



事業概要

実施年	実施月	研修地	参加者数
平成15年	8月	ニュージーランド(小中)	25名
平成15年	12月	オーストラリア(小中)	10名
平成16年	3月	カナダ(中高) イギリス(中高)	24名 26名
平成16年	8月	ニュージーランド(小中) オーストラリア(中高)	51名 42名
平成17年	3月	カナダ(中高) イギリス(中高)	12名 26名
平成17年	8月	ニュージーランド(小中) オーストラリア(高)	49名 18名
平成18年	3月	オーストラリア(小中高) イギリス(中高)	42名 19名
平成18年	8月	ニュージーランド(小中) オーストラリア(中高)	30名 26名
平成19年	3月	カナダ(中高) オーストラリア(小中高)	11名 19名
平成19年	8月	ニュージーランド(小) オーストラリア(中)	19名 21名
平成20年	3月	ニュージーランド(小中) オーストラリア(中高)	13名 17名
平成20年	7月	ニュージーランド(小中) アメリカ(中高)	27名 18名
平成21年	3月	オーストラリア(小中高)	19名
平成22年	3月	ニュージーランド(小中) イギリス(中高)	13名 17名
平成22年	8月	ニュージーランド(小) オーストラリア(中高)	6名 19名
平成23年	3月	カナダ(小中) イギリス(中高)	20名 16名
平成23年	8月	オーストラリア(小中)	13名
平成24年	3月	イギリス(中高)	29名
平成24年	8月	ニュージーランド(小中)	19名
平成25年	3月	オーストラリア(小中) イギリス(中高)	14名 20名
平成25年	8月	ニュージーランド(小中高)	9名
平成26年	3月	イギリス(中高)	22名
平成26年	8月	イギリス(中高)	18名
平成27年	3月	カナダ(小中) イギリス(中高)	13名 16名
平成27年	8月	ニュージーランド(小中) アメリカ(中高) イギリス(中高)	4名 4名 4名
平成28年	3月	イギリス(小中) ニュージーランド(中高) ニュージーランド(小中)	12名 7名 9名
平成28年	8月	アメリカ(中高) イギリス(中高)	8名 5名
平成29年	3月	イギリス(中高) カナダ(小中高)	13名 13名
平成29年	8月	オーストラリア(小中高) アメリカ(中高) カナダ(小中高)	5名 4名 5名
平成30年	3月	オーストラリア(小中) アメリカ(中高) イギリス(中高)	6名 2名 3名
平成30年	8月	オーストラリア(小中) ニュージーランド(小中) カナダ(中高)	4名 5名 7名
平成31年	3月	オーストラリア(小中高) イギリス(中高)	4名 13名
令和元年	8月	アメリカ(小中高) オーストラリア(中) カナダ(小中高) ニュージーランド(小高) シンガポール(中) イギリス(中高) マルタ共和国(高)	9名 6名 9名 5名 1名 5名 2名

参加者合計 1,002名

I 異文化体験国際交流研修(海外ホームステイ)

*平成15年度以降、県内の小学校5年生～高等学校3年生を対象に左記のとおり実施

II 異文化体験国際交流研修(国内研修)

実施年	実施月	研修名	研修場所	校種	参加者数
平成18年	12月	国内合宿	奈良ユースホテル	小	13名
平成19年	5月	国内合宿	国立曽爾少年の家	小	60名
令和元年	6月~10月	イングリッシュキャンプ	大阪、京都、福山、滋賀	小中高	57名
令和2年	3月	奈良イングリッシュキャンプ	奈良県立国際高等学校	小中	177名
令和3年	8月	英語研修プログラム	奈良芸術短期大学	小	40名
令和4年	3月	奈良イングリッシュキャンプ	奈良芸術短期大学 奈良学園登美ヶ丘中・高等学校	小	44名 65名
令和5年	3月	奈良イングリッシュキャンプ	奈良芸術短期大学 奈良学園登美ヶ丘中・高等学校	小	64名 81名

国内研修参加者 601名

III 教育講演会

第1回教育講演会(設立記念)

日 時:平成15(2003)年5月25日(日)14:00~

会 場:桜井市立図書館・研修ホール

講 師:岡 秀夫(東京大学大学院・総合文化研究科教授)

参加者:教育関係者・市民・生徒等約150名

第2回教育講演会・シンポジウム

日 時:平成18(2006)年5月14日(日)13:00~

会 場:奈良県社会福祉総合センター

講 師:直山木綿子(京都市総合教育センター指導主事)

パネラー:ALT 1名、小中高教員4名

参加者:小学校教職員等 約50名

IV 教員研修講座

第1回小学校「英語活動」担当教員宿泊研修

日 時:平成17(2005)年8月18日~19日

場 所:ホテル アウイーナ大阪

講 師:高島英幸(東京外国語大学教授)

ワークショップ講師:県内ALT3名 県内高校教諭5名

参加者:小学校教員15名 その他(講師等)合計約40名

第2回小学校「英語活動」担当教員宿泊研修

日 時:平成18(2006)年8月20日~21日

場 所:春日野荘

講 師:文部科学省教科調査官 菅 正隆

ワークショップ講師:県内ALT3名 県内高校教諭5名

参加者:小学校教員24名 その他(講師等)合計約40名

第3回小学校「英語活動」担当教員研修会

日 時:平成19(2007)年8月5日~6日

場 所:春日野荘

講 師:文部科学省教科調査官 菅 正隆

ワークショップ講師:県内ALT3名 県内高校教諭4名

参加者:小学校教員 25名 その他(講師等)合計約40名

第4回小学校「英語活動」担当教員研修会

日 時:平成20(2008)年8月5日~6日

場 所:橿原観光ホテル

講 師:文部科学省教科調査官 菅 正隆

実践発表者:奈良市教委指導主事、葛小、旭ヶ丘小教諭

参加者:小学校教員 50名



*後援：奈良県教育委員会、奈良県都市教育長協議会、奈良県町村教育長会、奈良県小学校長会、奈良県中学校長会、奈良県高等学校長協会、奈良県私立中学高等学校連合会、奈良県PTA協議会、奈良県高等学校PTA協議会、奈良新聞社、奈良テレビ放送、まちづくり国際交流センター

賛助会員になって頂いた法人・企業名

(株)アイエスエイ	(株)中井メリヤス
アスカ美装(株)	奈良交通(株)
小山(株)	奈良豊澤酒造(株)
三和住宅(株)	奈良トヨタ自動車(株)
佐藤薬品工業(株)	(株)南都銀行
(株)新興出版社 啓林館	野村證券(株)奈良支店
大光宣伝(株)	(株)藤井書房
大同薬品工業(株)	吉岡印刷(株)
(株)高木包装	

(五十音順・敬称略)

令和4年度 役員名簿

役 名	氏 名
理 事 長	天 根 俊 治
副 理 事 長	内 田 リカ子
副 理 事 長	日 高 容 子
理 事	今 治 賀洋子
理 事	國 柄 由紀子
理 事	笹 岡 健 司
理 事	谷 垣 康
理 事	根 来 群 二
理 事	八 代 英 美
理 事	松 井 秀 史
理 事	山 下 幸 江
理 事	山 原 雅 弘
監 事	岡 本 秀 光
監 事	寺 嶋 敏